



第18回日本語スピーチコンテスト

昨年11月20日、こども未来館ここにこ2階スタジオで「第18回日本語スピーチコンテスト」を開催しました。出場者13名の中から、豊橋市国際交流協会会長賞を受賞した2名のスピーチを紹介します。

【小・中学生の部】

「私のアドベンチャー」

豊橋市立豊岡中学校3年 ^{かわい きよみ} 河合 紀余実
(国籍:フィリピン・日本 / 2015年6月来日)

「やればできる!」私の心にはいつもこの言葉があります。私はフィリピンで生まれた日本人です。去年6月に来日するまでフィリピンで勉強していました。フィリピンでは、日本人として見られていましたが、日本のことはほとんど知らず、日本語も全く話せませんでした。自分のルーツである日本のことを知りたい、行ってみたいとだんだん思うようになり、日本に行くことが決まったときは、とてもうれしかったです。日本の人達は私が思っていた以上に親切で、優しさにあふれていました。そんな日本で、私の冒険が始まりました。冒険の始まりは、国際教室での



日本語の勉強でした。ひらがな、カタカナ、漢字と少しずつ書けるようになるにつれて、勉強が楽しくなりました。国際教室の中で一番覚えが早かった私は、日本語に自信がもてるようになりました。そんな時、私は初めて英語のテストに挑戦しました。結果は56点。ショックでした。フィリピンでは、満点をとるほど英語が得意だったので、目の前が真っ暗になりました。「ずっと来たかった日本だけれど、もうフィリピンに帰りたい。」と思うようになりました。涙がでました。楽しかった冒険は、つらいものになりました。日本語の勉強も、覚えても覚えても新しい言葉を勉強しなければならない、教室の授業は意味がわからずついていけない、終わりのない毎日に、涙がでました。泣いている私に先生が言いました。「You can do it!」それ以来、私の心には「やればできる!」という言葉があるのです。私の夢は、建築家になることです。いつか家族が一つになれるドリームハウスを建てるのが私の夢です。私の冒険はまだ続いています。これから楽しいこと、つらいこと、悲しいこと、いろいろなことが待っていると思います。どんな時も「やればできる。」を合言葉に夢に向かって歩きます。「You can do it!」「I can do it!」「やればできる!」

【高校生以上一般の部】

「店長のEnglish」

パート ^{しらふじ} 白藤 シンデレラ
(国籍:ソロモン / 2004年7月来日)

みなさん、こんにちは、私はソロモン人の白藤シンデレラといいます。私の村では今でも、電気やガス、水道がなく、自給自足の生活をしています。日本人の方々にとっては第二次世界大戦の激戦地、ガダルカナル島といった方が分かりやすいかもしれません。豊橋には主人の仕事の関係で2013年に引っ越してきました。豊橋には外国人が多く、日本語教室などいろいろなサポートがあり、また、豊橋の人々もとてもフレンドリーなので、2人の娘を育てるにはとてもよい環境と感じます。さて、みなさん、突然ですが、2020年と聞いて何を思い浮かべますか?

そうですね東京オリンピックですね。いろいろ問題はありますが、盛り上がることは間違いないと思います。そし

てもう一つ大切なことがこの年にあります。それは、小学校5、6年生の英語の教科化がスタートするのです。ちょうどうちの長女が今、小学一年生ですから、2020年には5年生として英語を勉強することになります。私は、これはとても良い事だと思います。なぜなら英語を身に着けることができれば、豊橋にいても、外国にいても、いろいろな人々とお話できるチャンスが広がると思うからです。

ソロモン諸島は大小約1,000もの島々からなります。そして、約170種類の言語があります。お父さんとお母さんが違う島の家族なら、子供はどちらの言語も話します。それに加えて、ピジン English という公用語、中学校に進学すれば英語も勉強しますので、4つの言語を身に着けている人も珍しくありません。私は結婚後に日本語を勉強しましたが、漢字の難しさなどあり、もう一つ違う言語が増えたという感覚



ゆたかな地域社会
づくりに奉仕する



地元とともに——

蒲郡信用金庫

理事長 竹田知史

蒲郡市神明町4番25号

☎ <0533> 69-5311 (代)
http://www.gamashin.co.jp/

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも

豊橋信用金庫

会長 吉川 一弘

理事長 山口 進

豊橋市小畷町579番地 ☎ (0532) 52-0321 (代)
http://www.toyo-shin.co.jp

です。しかし、日本の皆さんにとっては、英語というのはとても難しく、高いハードルに感じる人が多いと聞きます。それは、やはり「勉強」というイメージが強いことと、もし間違えたら「恥ずかしい」とか「怖い」という不安があるのだと思います。どうすれば、英語を身に付けられるのか、最近とても良い経験をしたので、今日はそれをお伝えします。私は今年の1月から近所のスーパーでパートタイムをしています。とてもアットホームなスーパーで毎日、楽しく、忙しく仕事をしています。店長は陽気な方で、昔から英語を勉強したいと思っていたそうで、せっかく外国人の私と一緒に働くのなら、パートの時間は「英語だけ使う」というルールを決めて仕事をしています。初めはお世辞にも

上手いと言えない英語で、何を言っているか分からない事も正直結構多くありました。店の人もどうせ今さら英語を店長が勉強してもしょうがないとあきらめ顔でした。しかし1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月と経過するうちに店長の英語はみるみる上達していきました。すると不思議なことに、半年が経過する頃には、他の店員さんも簡単なコミュニケーションは皆、英語を話すようになりました。そして、今では仕入れ先の方、お客さんまで英語であいさつするのが当たり前になりました。ここに日本人が英語を学ぶヒントがあるような気がします。それは「勇気」と「継続」です。例え間違っても、毎日少しずつ英語を話したり、聞いたりすることが一番大切なのです。私はそれを店長から学びました。

【第18回日本語スピーチコンテスト】 その他受賞者

	【小・中学生の部】	【高校生以上一般の部】
◆豊橋市教育委員会賞	ツイ 筒井 ラリサ(豊岡中学校1年・ブラジル) 「オリンピックの本当の意味」	モリヤ スルマリサ(主婦・インドネシア) 「ママ、がんばるね。」
◆特別賞	リ 李 歓格(南陽中学校3年・中国) 「白いおばけと時計の謎～文化の違いを楽しもう～」	アサヒ 朝日 ユカリ(豊橋西高校1年・ブラジル) 「私の家族」



協賛：豊橋みなとライオンズクラブ

第7回東三河日本語スピーチコンテスト

東三河5市(豊橋、豊川、蒲郡、新城、田原)に在住し、各市から選ばれた外国人が、地域での生活や日頃感じていることを日本語で発表します。豊橋市からは上記コンテストから選ばれた11名が出場します。

- 日 時／平成29年1月22日(日)
午後1時半～
- 場 所／豊川市音羽文化ホール
(豊川市赤坂町松本250)
- 入 場／無料 ■申込み／不要
- 問合せ／豊川市国際交流協会
☎0533-83-1571
✉oiden.tia@toyokawa-p-ip.or.jp

世界を体験!

平成28年度

中学生海外派遣

豊橋市国際交流協会では、次代の担い手となる青少年を海外に派遣し、教育活動への参加や生徒間の交流、ホームステイをとおして、国際的視野と豊かな心で未来を拓き、国際社会に貢献



できる国際人の育成を推進しています。今年度は、中学生23名を友好都市中国・南通市等へ派遣し、同世代との活発な交流を行いました。



中学生海外派遣の記録

- 【日 程】平成28年10月24日(月)～10月28日(金)
- 【訪問国】中華人民共和国 南通市、上海市
- 【参加者】中学生23名、引率5名
- 【内 容】江蘇省南通田家炳中学校での交流活動、ホームステイ、南通市人民政府表敬訪問、施設見学等

ハートにキュン！ 親・近・感！



豊橋商工信用組合

理事長 加藤 満

豊橋市前田町一丁目9番4

TEL (0532) 53-2828

個人から団体旅行まで…
あなたの夢をプランニング

人が好き。地球が好き。旅がスキ。
近畿日本ツーリスト

豊橋営業所

個人旅行(0532)54-4891

団体旅行(0532)54-6410

※営業時間10:00～18:00(日・祝日は休業)

